いい子を演じすぎて
本当の私がわからない

家族のこと
知ってますか？

家族を壊したい

私の記憶はどこ？

10/11(土)

①15：00　②17：00

上映終了後トークなしで入れ替え

懇親会18：45　2時間

ゲスト：小野さやか監督

小野さやか 第1回監督作品

私も叩かれてた？

アヒルの子

http://ahiru-no-ko.com/

2005年 HOTDOCS国際ドキュメンタリー映画祭〈カナダ〉正式出品
2005年 シャドードキュメンタリー映画祭〈オランダ〉正式出品

2005／日本／SD／92分／ドキュメンタリー

監督：小野さやか　制作総指揮：原一男

撮影：山内大堂　録音：伊藤梢　制作・編集：大澤一生　音楽：小倉里恵（まめ妓）

アドバイザー：小林佐智子、栗林豊彦、浜口文幸

製作：日本映画学校　配給：ノンデライコ　宣伝：スリーピン

両親は私のことを何も知らない

私はここにいた？

姉ちゃんなんかいなくなればいいのに

この映画はサヤカの生きる過程を活写した“なまもの”である。
敢えて言葉に置き換えるならそれはドキュメントでもノンフィクションでもなく、
ライブムービー、さらに言えばアライブ（生きている）ムービーであると言える。
藤原新也（作家／写真家『メメント・モリ』『渋谷』）

“家族”という絆に迫る“アヒルの子”のパワーに圧倒され、
とにかく冷たい水をコップ一杯のんで息をついだ。
ラストのセリフ「生きていてよかった」はそのまま私のセリフだ。
小山内美江子（脚本家『3年B組金八先生』『翔ぶが如く』）

映画はある日、鬼と化したアヒルの子が、親兄弟に体当たりし、
その衝撃に、醜さと見まごうばかりの血縁の真実があぶりだされていく。
私をふるえさせた捨て身の傑作だ！
芹沢俊介（評論家『引きこもるという情熱』『「新しい家族」のつくりかた』）

なぜそこまで本当の気持ちを
さらけ出すのですか？
涙を流しながら話すその姿に
自分を見たような気がしました。
自分ととことん向かい合った、
これは輝かしい記録です。
そしてそれを受け入れた家族に、
ただただ拍手を送ります。
星野真里（女優）

家族が憎い。誰にも愛されていない。
私は捨てられた。醜いアヒルの子のように。

私を見つめることは家族のことを知ること
家族を知ることは自分を見つめること

私はいつも5歳のわたしに話しかける。
泣いているわたし。
私は5歳のときに家族のもとを離れ、ヤマギシ会幼年部に預けられた。家族に捨てられたひとりの女の子。醜いアヒルの子のように。二度と捨てられたくない。それ以来、私はいい子を演じ続けてきた。でも私は決心した。私のことをもっと見てほしい、知って欲しい。私は家族ひとりひとりと「たたかう」ことを決意した。
『ゆきゆきて、神軍』で知られるドキュメンタリー映画監督・原一男の指揮のもと、日本映画学校の卒業制作として『アヒルの子』は誕生した。カメラを通して自分をさらけ出す、感情を吐き出す。親子の価値観の相違、姉妹の葛藤、性的虐待の記憶。監督・小野さやかは、自身のトラウマとして触れずにいた自分と家族の深層に足を踏み入れる。誰にでもどこにでもある私と家族の問題。ときには笑い、ときには殴り合い、ときには涙する、そんな家族の姿。ひとりの女性が悩み、成長する姿を通して、晴れ晴れとしたほんとうの家族の形がみえてくるだろう。

幸福会ヤマギシ会とヤマギシ学園幼年部

幸福会ヤマギシ会は、農業・牧畜業を基盤とした理想社会を目指すコミューン団体。発足当初は養鶏を軸にした小規模な農業コミューンだったが、60年代後半以降、学生運動経験者も含めた多数の若者が参画し始める。80年代に入ると、教育問題や環境問題などに関心の高い人たちに好意的に受け容れられ始め、三重県が中心だった拠点が全国各地に拡大していった。
85年にはヤマギシ会の理想を体現する子どもたちを育てることを目的とした、ヤマギシズム学園幼年部が発足。幼年部では、小学校に入る前の5歳の子供を対象に、1年間親元から離して学園の母親係と共に集団で生活させる。自然の中でのびのびと、争いのない中で子どもを育てるという方針に、当時の教育環境に疑問を感じていた多くの親たちが惹きつけられた。監督・小野さやかはその5期生に当たる。

アヒルの子

2005／日本／SD／92分／ドキュメンタリー
監督：小野さやか　制作総指揮：原一男
撮影：山内大堂　録音：伊藤梢
制作・編集：大澤一生　音楽：小倉里恵（まめ妓）
アドバイザー：小林佐智子、栗林豊彦、浜口文幸
製作：日本映画学校　配給：ノンデライコ　宣伝：スリーピン
公式HP　http://ahiru-no-ko.com/

入場料：1ドリンク付き￥2，000（各回入替15名）
懇親会：軽食付き2h飲み放題￥4，000（10名）
場所：ダイニングバー・モンキーランド
多摩市豊ヶ丘1-11-1（小田急京王多摩センター駅徒歩20分）
お申し込みは、予約フォーム　www.taenoha.com
または　050-5891-1977　主催：たえのは

たえのは　たえのは　検索　/taenoha　@taenoha